

トリエート あまのいびき

奈緒・加蓮編



成人向
for adult only

m.p.p. 2016
MAKE
PIG
PRESS

idol.m@ster.pigpress.com



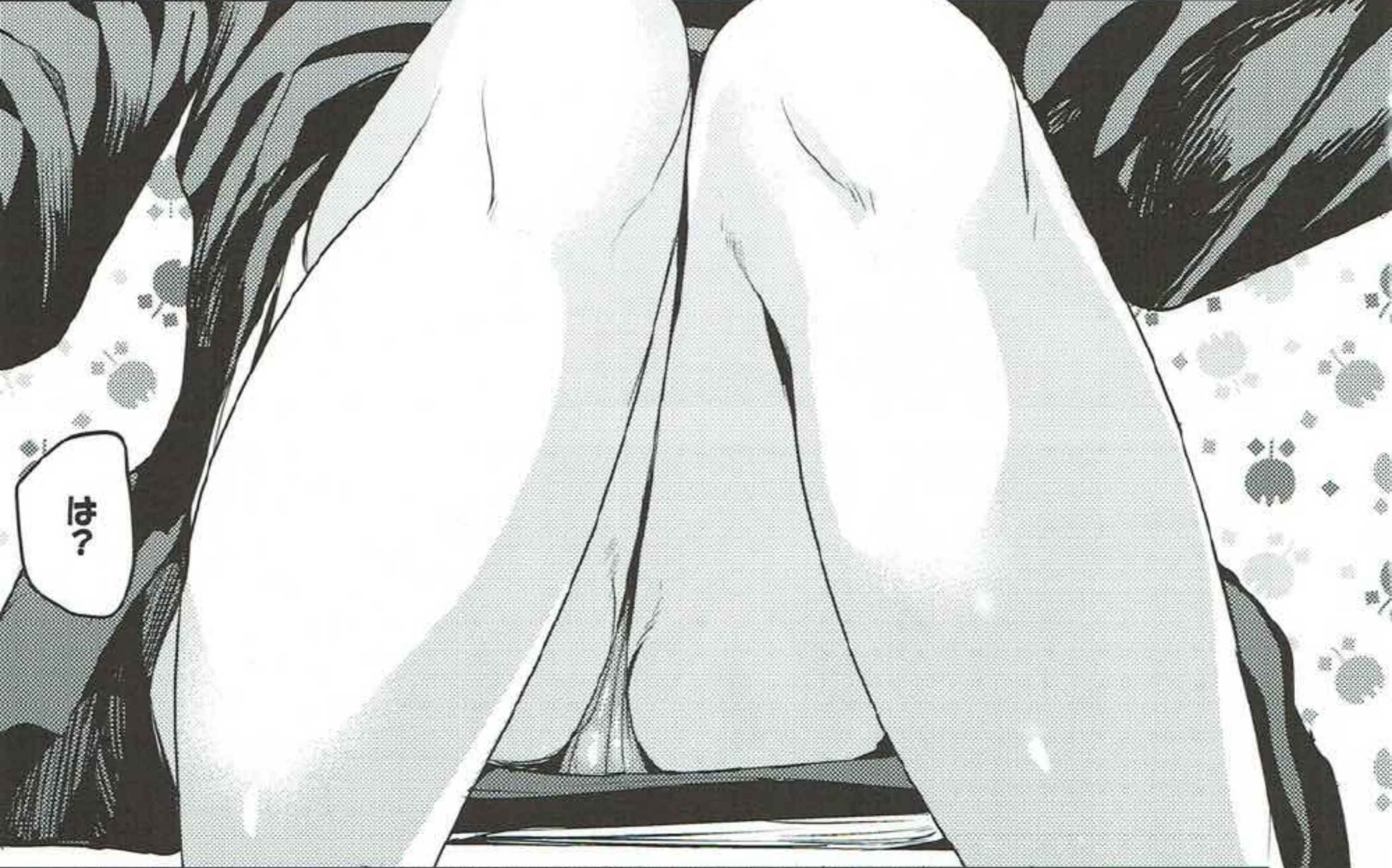
エリートアワード



へんげん

奈緒・加蓮編

for adult only







甘いな
加蓮

こうしてしまえば
どうとでもなるだろうが!

なっ!
いきなりこんなっ

やめろばかっ

はくなくせ

ぼかめ

あーん

あ

おま



なんか、密度を
感じる……!



奈緒の膣肉は
まず密度が違うんだ
こう、しめつけてくるみたいなの

なるほどね

なんで
冷静に
解説してるわけ!



加蓮
やってみるか?

いいの?

いやむしろいい



女の真価を発揮するには
ちやんと濡らして
あげないと



これがプロデューサーも
涎を垂らす一品?

いや、まだまだ



奈緒の攻略法はな
クリだぞ加連

唇が感じてきたら
半剥けみたくに
なるからな



奈緒かわいいね
感じてるんだね

だめだっ
あたた

それだけ
がまあっ
あっあっ



びくびく

ひあ

ま

あ





み、みるな
ばかあ〜♡

シャワー
水

びしょ濡れ

びしょ濡れ

みみ、みみ、みみ

びしょ濡れ

びしょ濡れ

そして、もう一度
さあ、指を

びく...

これは

まるで指が、
絡めとられるように...

そう、これこそが
奈緒の器なのだ

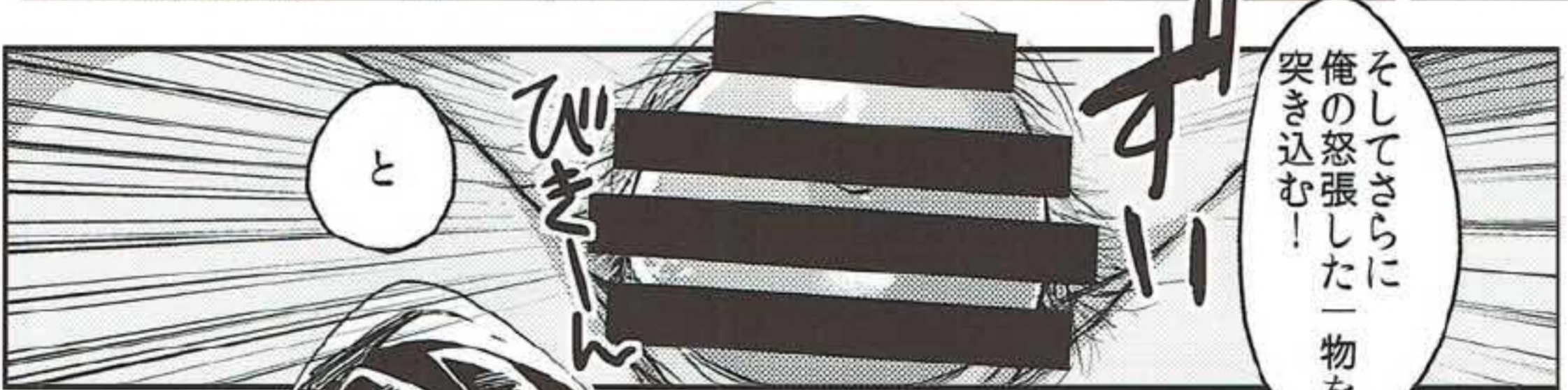


そしてさらに
俺の怒張した一物を
突き込む!

オッ

びきーん

と



あああ

だっ、だめだあ

びく

びく

あたしッ
でいま敏感ッ

びく...

びきーん



人一倍の感じやすさだけに、愛液の量も人一倍！

よがればよがるだけ名器になっていくっ

またあッ

だめっもうムリ

ピコンピコン

あッ

あたしイッて... あああッ

うおおお、肉厚の膣が痙攣して締め付ける

びびび

イクッもつとイッていいぞ！ 奈緒

ゴックン

あッ

むっ、ムリだあッ

カッパッ



でも、奈緒ばっかり
褒められると
ちよつと妬いちゃうな

ねえ…
プロデューサー
前に言ったよね…

私、結構負けず
嫌いなんだ



どうだ、加蓮！
奈緒の名器っぷり！

なるほどね、確かに
奈緒の良さは
わかったよ



このままじゃ
不公平だよ

私のやり方も
ちゃんと見て…！！

びたあ

こっ
これはああああ

プロデューサー



…というわけで

あ、あれっ
な、なに

ううおおっ
体重をかけきることで
腔密度を補い…
さらにつ

ま○こだけでなく
体全体で俺を
擦り上げるツ

私だって
こっつやっつ

ちゃんど
きつくと
出来るん
だから

形だけが
「良奴」じゃ
ないんだよ

腔ごと
捻られて

うおお
雑巾を搾り取る
ように!

さ、さらに
左右につ

うおおおおお
横ピストン!



ちやんと分かって
もらえたかな？

うれしいよ
プロデューサー

じゃあ、最後は
奈緒も一緒に……！

あ、あたしは
まだっ……ああ

ううっ
ちんこ
サンドっ

あっ

落とせない
駄目だ……
落せないいいい！

あっ
ああっ

わかつたうう
わかつたから
一旦勢い
落として



甲乙つけがたし!



身体能力に劣る部分を類まれなる努力で埋めんとする加蓮

天性の肉質を備え、その感じの良さにおいても右に出るものはいない奈緒



どうしたのみんな?



そういえばさ「凛の」ってどんな感じなの?

ん? 凛か? 凛は凛で... いや口で説明するのは難しいか...

何の話?



ちゅ...!

おしまい



リンアリス 桜木 (1) ヴィンク

あとがきのような何かです

はじめまして、高坂曇天と申します。

なんか一応、こんな感じの本になりました。

今回、トライアドとタイトルに入れたにもかかわらず
凜のパートまで書ききれなかったことはまことに申し訳が…

前回、わりと表面を描いたつもりだったので、ちょっと突っ込んでみたり
しようかなと思ってこんな感じになりました

以下、全然、全く読まなくていい文章です。

勝手な考えというか、テーマとして努力と天性というみでは、アイドルとしての素養と逆という
風にできたらなと思ったり思わなかったり。

いつも思ってるのは、加蓮は華があって、少ない練習量でもそれなりにできてしまうけど
それなりを突き破るために自分の限界と向き合うみたいな側面がありそう…とか

奈緒はそんな彼女を尊敬しつつも、嫉妬する気持ちも少しあって、でも足りない華を
精一杯努力で埋めようとしたり、知らず知らずのうちにもくひょうにしていたりする。
それで自分が年上であることをふと思い出してつらくなったり、まあそういうの
想像してしまったりしなかったり。

そんな二人が、実はこのPとの関係において立場が入れ替わっていて、
女性として華のある加蓮が、自分のうまれつきのものが奈緒に勝てないというのを
どこかで自覚していて、改めてそれが露になったときに

自分が悔しさを抱えていることに気づいて。お互いの気持ちが共有できて…とか
もちろん3人は仲良しなのですが、仲良しの中にもそういう気持ちってあると思うし
たまにそんなぶっちゃけ話もしたりしながら、お互いをみとめたりしながら
彼女たちは進んでいくのかなと思ったりしないでもないですが
多分これを読むにあたってはどうでもいいことのような気がするので
ぜひ忘れてください。

本当は、それに対してひとつ男女の関係として先輩の立場の凜がいて
とお話は続いていくのですが、まあかけませんでした。

あと奈緒にどうしてもアンダー毛の描写を入れないのは
仕様ですというか、まあそういうやつです。懺悔みたいな気持ちです。
でもこの娘絶対性に関してはまめというか、不慣れだけど気にしちゃって
いろいろ繕う人だと思やし、下の毛が深いなら絶対コンプレックスあって全部
丁寧に剃ったりしてそう…なんて言い訳をかんがえつつ
原稿中3度くらい壁に向かって“ごめんなさい”と自然発声してしまいました
貫き通していいものなのかわかりません。だめだったらごめんなさい。

今回のあとがきは読みにくくごちゃごちゃとしていますが、
これはつまりこんな言い訳がましいことかいていいのかどうなのじか
わからないからであります。

しかしそれでもここまで読んだ人がいたとしたら凄い…！

もしいらっしゃったらとてもありがとうございます。

プリントアウト
おまじない
ブック
奈緒・加蓮編

発行日：2016年12月31日
発行：MAKE PIG PRESS
印刷：ねこのしっぽ
連絡先：高坂曇天
[HP … 改良型につけるめたる]
<http://makepig.blog13.fc2.com/>
[PixivID]10519
[Mail]
sf_force_bow@hotmail.com

トライアクト



くらべ

奈緒・加蓮編

成人向
for adult only